

令和元年度  
学校評価(最終)

このアンケートは、令和元年度松波中学校学校評価目標におけるめざす姿をもとに、評価項目を設けた。

それぞれの質問について、個人としての評価ではなく、学校全体の取組としての評価を行った。また、生徒アンケート・保護者アンケートの結果についても参考とした。

なお、評価は、A(4+3:90%以上)、B(4+3:70%以上)、C(4+3:70%未満)とした。

令和元年2月  
能登町立松波中学校

# 令和元年度 能登町立松波中学校 学校評価目標

<b>本校の教育目標</b>	<b>自己教育力に富み、社会性・人間性豊かな生徒の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現を目指して～</b>			
<b>めざす姿</b>	<b>1. 生徒像</b> (1) 一歩前に踏み出し、失敗しても粘り強く取り組む生徒 (2) 疑問を持ち、考え抜く生徒 (3) 多様な人々とともに、目標に向けて協力する生徒	<b>2. 教師像</b> (1) 危機管理意識が高い教師 (2) 確かな指導力をもった教師 (3) 豊かな人間性をもった教師	<b>3. 学校像</b> (1) 安心・安全な学校 (2) 協働意識が高い学校 (3) 笑顔あふれる学校	<b>キーワード</b> (1) 「命」を大切にする (2) 「学び」を自覚する (3) 「目標」を設定する

本年度努力事項	具体的な取り組み	判定指標
<b>【子どもたちが安全・安心に学べる学校】</b> ① 学校教育活動全体を通して、子どもたちに自らの安全確保に必要な力を育成する。 ② 生徒の変化を敏感に把握し、いじめ等を見逃さない。 ③ 教職員の危機管理意識を高め、効果的に働く仕組みを絶えず見直す。	◆ 行事や体験活動等の実施の際に、安全確保について生徒同士が話し合う機会を設定する。 ◆ 毎朝、対面で声かけを行い、個々の生徒の様子を把握する。 ◆ 適時的に訓練を実施し、危機管理マニュアルの理解と改善を行う。	[教職員アンケート] 1, 2, 3, 11, 12 [生徒アンケート] 1, 2, 3, 12 [保護者アンケート] 1, 2, 3, 4, 5
<b>【生徒の確かな学びを保障する学校】</b> ① 主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善を推進する。 ② 学力調査等の結果を活用した、個に応じたきめ細やかな学習指導を行う。 ③ 体験活動や総合的な学習の時間を活用して、教科横断的な学びを推進する。	◆ 生徒の様子、変容を視点とした、研究授業を実施する。 ◆ 個々の生徒の苦手分野を把握し、その対策と取り組みを実施する。 ◆ 体験活動等の計画に、教科との関連を明記する。	[教職員アンケート] 4, 5, 6, 10 [生徒アンケート] 4, 5, 6, 7, 8 [保護者アンケート] 6, 7, 8, 9, 10
<b>【教師の研修意欲が高い学校】</b> ① ワークライフバランスを向上させ、子どもと向き合う時間の確保に努める。 ② 人権感覚を高め、指導力を高める研修を推進する。 ③ 日常的に共通理解やコミュニケーションを図る職場づくりを進める。	◆ 働き方改革を推進し、遅くとも午後8時までに退校する。 ◆ 授業中、生徒を指名する時は姓に敬称をつける。(呼び捨てにしない) ◆ 報告・協議事項は事前に紙またはサーバー内で文書化し周知する。	[教職員アンケート] 7, 8, 9 [生徒アンケート] 8, 9, 10, 11 [保護者アンケート] 4, 5, 6
<b>【地域社会の一員として信頼される学校】</b> ① 学校公開や日々の教育活動についての情報発信を積極的に進める。 ② 学校評価は焦点化した評価項目に絞り、改善の方向や方策を提示し公開する。 ③ 地域人材や施設を積極的に活用し、社会に開かれた教育課程の構築を進める。	◆ 月2回以上、学校HPを更新する。 ◆ 学校評価結果を学校HPで公開する。 ◆ 各学年2回以上、地域人材を活用した授業を実施する。	[教職員アンケート] 13, 14 [生徒アンケート] 13, 14, 15 [保護者アンケート] 11, 12

判定基準	A(4+3:90%以上) B(4+3:70%以上) C(4+3:70%未満)	各項目のC評価については、指導・改善を行う
------	--	-----------------------

# 令和元年度 能登町立松波中学校 学校評価 考察・改善

本年度努力事項	具体的な取り組み	判定指標
<p>【子どもたちが安心・安全に学べる学校】</p> <p>①学校教育活動全体を通して、子どもたちに自らの安全確保に必要な力を育成する。</p> <p>②生徒の変化を敏感に把握し、いじめ等を見逃さない。</p> <p>③教職員の危機管理意識を高め、効果的に働く仕組みを絶えず見直す。</p>	<p>◆行事や体験活動等の実施の際に、安全確保について生徒同士が話し合う機会を設定する。</p> <p>◆毎朝、対面で声かけを行い、個々の生徒の様子を把握する。</p> <p>◆訓練実施後、危機管理マニュアルと比較し成果と課題を明確にする。</p>	<p>[教職員アンケート] 1, 2, 3, 11, 12</p> <p>[生徒アンケート] 1, 2, 3, 12</p> <p>[保護者アンケート] 1, 2, 3, 4, 5</p>

教職員アンケート	判定	生徒アンケート	判定	保護者アンケート	判定
1. 目指す姿を達成するための教育活動を実践している。	A 100%	1. 学校が楽しいと思う。	A 93.1%	1. 学校へ行くのが楽しそう。	A 91.5%
2. 生徒の小さな変化にも気付くよう意識している。	A 100%	2. 困っている友達がいたら声をかけたり助けたりしている。	A 91.4%	2. 学校は生徒の安全を守るために努力している。	B 89.8%
3. 教育活動全般を通して安全について意識させている。	A 100%	3. 安全を意識した行動を心掛けている。	A 93.1%	3. 学校はいじめや問題行動の未然防止や早期発見に努めている。	B 84.7%
11. 各種アンケートをもとに、人間関係作りに取り組んでいる。	A 100%	12. 5定点を守るよう心掛けて生活している。	B 82.8%	4. 学校は何事に対しても早めに対応している。	B 88.1%
12. 生徒は自分の健康や安全に気を付けて行動している。	A 100%		B 84.5%	5. 教職員は、子供の気持ちや内面を理解しようとしている。	A 91.2%

◎教職員は、学校教育活動全体を通して、安全に対する指導・育成を行っている。また、生徒一人一人の小さな変化に気づくよう取り組んでいる。

◎生徒は、全ての項目において向上が見られる。また、保護者も、全ての項目において肯定的意見が向上している。

◇5定点の意識しは、3年生が向上したが、1・2年生が若干低下している。

◇基本的な生活習慣を乱す原因として、ゲーム、インターネットが考えられる。今後、保護者との連携を深めていくと共に、生徒の自己管理能力を育成していくことが重要である。

判定基準	A(4+3:90%以上) B(4+3:70%以上) C(4+3:70%未満)	各項目のC評価については、指導・改善を行う
------	--	-----------------------

# 令和元年度 能登町立松波中学校 学校評価 考察・改善

本年度努力事項	具体的な取り組み	判定指標
<p>【生徒の確かな学びを保障する学校】</p> <p>①主体的・対話的で深い学びを意識した授業改善を推進する。</p> <p>②学力調査等の結果を活用した、個に応じたきめ細やかな学習指導を行う。</p> <p>③体験活動や総合的な学習の時間を活用して、教科横断的な学びを推進する。</p>	<p>◆生徒の様子、変容を視点とした、研究授業を実施する。</p> <p>◆個々の生徒の苦手分野を把握し、その対策と取り組みを実施する。</p> <p>◆体験活動等の計画に、教科との関連を明記する。</p>	<p>〔教職員アンケート〕 4, 5, 6, 10</p> <p>〔生徒アンケート〕 4, 5, 6, 7, 8</p> <p>〔保護者アンケート〕 6, 7, 8, 9, 10</p>

教職員アンケート	判定	生徒アンケート	判定	保護者アンケート	判定
4. 各種学力調査の分析を授業改善に生かしている。	B 85.7%	4. 授業の内容はよくわかる。	B 89.7%	6. 本校の教職員は、授業が分かりやすいように工夫している。	B 88.1%
	A 100%		B 87.9%		A 91.2%
5. 個々の生徒の苦手分野を把握し、対策を行っている。	A 100%	5. ペア学習やグループ学習で、自分の考えを伝えたり、友達の考えを参考にできる。	A 91.4%	7. 毎日家庭学習をしている。	B 83.1%
	A 100%		A 94.8%		B 77.2%
6. 体験学習・総合的な学習の時間で、教科横断的学びを関連付けている。	B 85.7%	6. 毎日学年に応じた家庭学習を行っている。	A 94.8%	8. 毎日決まった時刻に起床・就寝している。	B 74.6%
	A 100%		B 87.9%		B 73.7%
10. 生徒は、学校生活全体を通して元気にあいさつや返事をしている。	B 77.8%	7. 失敗しても粘り強く取り組もうとしている。	B 75.9%	9. ゲーム、インターネット、ライン等の使用についてルールを決めている。	C 69.5%
	C 66.7%		B 86.2%		B 73.7%
		8. 先生は頑張ったことに対して、ほめたり認めたりしている。	A 91.4%	10. 家庭で勉強や進路について話をする。	B 78.00%
			A 98.3%		B 80.7%

◎教職員は、生徒の学力向上に向け、継続して結果の分析、課題の把握、改善方法の検討・実践と検証に努めてきた。

◎生徒は、ペア、グループ学習が定着し、互いの考えを参考にし、学習内容を深めることができてきた。また、粘り強く取り組む生徒が増加している。

◎保護者は、教職員が授業改善に取り組み、わかりやすい授業となるよう工夫していると感じている。また、家庭で学習や進路についての会話も増加している。

◇教職員は、授業規律の観点もあわせて生徒が挨拶や返事をしっかり行うよう、具体的で共通の指導していくことが重要である。

◇インターネット、ゲーム等の使用時間のルールを決める家庭が増えてきた。しかし、決まった時刻に就寝・起床している割合が減ってきており、喫緊の課題である。

判定基準	A(4+3:90%以上) B(4+3:70%以上) C(4+3:70%未満)	各項目のC評価については、指導・改善を行う
------	--	-----------------------

# 令和元年度 能登町立松波中学校 学校評価 考察・改善

本年度努力事項	具体的な取り組み	判定指標
<p>【教師の研修意欲が高い学校】</p> <p>①ワークライフバランスを向上させ、子どもと向き合う時間の確保に努める。</p> <p>②人権感覚を高め、指導力を高める研修を推進する。</p> <p>③日常的に共通理解やコミュニケーションを図る職場づくりを進める。</p>	<p>◆月3回は定時退校を行い、遅くとも午後8時までに退校する。</p> <p>◆授業中、生徒を指名する時は姓に敬称をつける。(呼び捨てにしない)</p> <p>◆伝達事項は紙またはサーバー内で文書化し、事前に周知する。</p>	<p>[教職員アンケート] 7, 8, 9</p> <p>[生徒アンケート] 8, 9, 10, 11</p> <p>[保護者アンケート] 4, 5, 6</p>

教職員アンケート	判定	生徒アンケート	判定	保護者アンケート	判定
7. 校内研修は指導法改善に役立っている。	<p>A 100%</p> <p>B 88.9%</p>	8. 先生は、頑張ったことに対して、ほめたり認めてくれる。	<p>A 91.4%</p> <p>A 98.3%</p>	4. 学校は、何事に対しても早めに対応している。	<p>B 88.1%</p> <p>A 91.2%</p>
8. 働き方改革を推進し、遅くとも午後8時までに退校している。	<p>B 77.8%</p> <p>B 77.8%</p>	9. 先生は、丁寧に教えてくれる。	<p>A 98.3%</p> <p>A 98.3%</p>	5. 教職員は、子どもたちの気持ちや内面を理解しようとしている。	<p>B 88.1%</p> <p>A 91.2%</p>
9. 報告・協議事項は、事前に周知されている。	<p>A 100%</p> <p>A 100%</p>	10. 自分には良いところがある。	<p>B 76.0%</p> <p>B 77.6%</p>	6. 本校の教職員は、授業が分かりやすいように工夫している。	<p>B 89.8%</p> <p>A 91.1%</p>
		11. 学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある。	<p>A 91.4%</p> <p>A 93.1%</p>		

◎教職員は、指導法改善、生徒理解のための校内研修を定期的に行い、高い研修意欲をもって取り組んでいる。

◎年間を通して文章掲示、回覧、会話など、適切な方法で日常的にコミュニケーションが図られ、事前周知が浸透した。

◎先生から褒められたり、認められていると回答する生徒が増加した。1・3年生で、自分には良いところがあると答えた生徒が増加した。

◎9割を下回っていた保護者アンケート結果が、全ての項目において9割を超えた。

◇今後も、アンケートや各種調査、個別対応等から生徒理解を深め、良好な関係を構築していくことが重要である。そのためにも、生徒一人一人と向き合う時間の確保ができるよう業務内容の見直しと改善を図っていくことが求められる。

◇業務の改善については、ほぼ頭打ちであると感じている。年度末に、業務の洗い出しを行い、平準化ができるか検討していきたい。

判定基準	A(4+3:90%以上) B(4+3:70%以上) C(4+3:70%未満)	各項目のC評価については、指導・改善を行う
------	--	-----------------------

# 令和元年度 能登町立松波中学校 学校評価 考察・改善

本年度努力事項	具体的な取り組み	判定指標
<p>【地域社会の一員として信頼される学校】</p> <p>①学校公開や日々の教育活動についての情報発信を積極的に進める。</p> <p>②学校評価は焦点化した評価項目に絞り、改善の方向や方策を提示し公開する。</p> <p>③地域人材や施設を積極的に活用し、社会に開かれた教育課程の構築を進める。</p>	<p>◆月2回以上、学校HPを更新する。</p> <p>◆学校評価結果を学校HPで公開する。</p> <p>◆各学年2回以上、地域人材を活用した授業を実施する。</p>	<p>[教職員アンケート] 13, 14</p> <p>[生徒アンケート] 13, 14, 15</p> <p>[保護者アンケート] 11, 12</p>

教職員アンケート	判定	生徒アンケート	判定	保護者アンケート	判定
13. 授業に、地域の教材・人材を年2回以上計画的に取り入れている。(予定である)	<p>A</p> <p>100%</p> <p>B</p> <p>87.5%</p>	13. 学校や家庭・地域で元気な挨拶や返事ができる。	<p>A</p> <p>93.1%</p> <p>A</p> <p>91.4%</p>	11. 本校の教職員は、保護者との連絡を密にしている。	<p>B</p> <p>84.7%</p> <p>B</p> <p>87.5%</p>
14. 地域・保護者へ、積極的に情報発信を行っている。	<p>B</p> <p>77.8%</p> <p>A</p> <p>100%</p>	14. 地域の行事等に参加している。	<p>B</p> <p>70.7%</p> <p>C</p> <p>67.2%</p>	12. 学校からの各種便りの発行や、ホームページの更新などは十分である。	<p>B</p> <p>88.1%</p> <p>A</p> <p>93.0%</p>
		15. 地域の人(施設)や自然から学べたことがある。	<p>B</p> <p>86.2%</p> <p>B</p> <p>81.0%</p>		

◎地域・保護者へ、積極的に情報発信を行うことが出た。結果として、他の項目でもあった通り、保護者からの肯定的回答が増加した。

◎生徒は、地域の方と元気にあいさつができると回答している。

◇教職員は、今後も保護者や地域へ情報発信を行い、理解と協力を求めていくことを継続して取り組んでいく。

◇各地区に、中学生が参加できる行事等にどのようなものがあるか、どのような参加の仕方があるのか生徒とともに把握し、かかわり方を明確にする。

◇地域・保護者と連携を深めることで、学校への理解と協力・支援につながる。道徳、特別活動、海洋教育、学校行事で連携できる場面を明確にしていくことが大切である。

判定基準	A(4+3:90%以上) B(4+3:70%以上) C(4+3:70%未満)	各項目のC評価については、指導・改善を行う
------	--	-----------------------